

保健・病気について



☆病気の場合

- ・発熱(目安38℃)や体調不良、けがした場合は連絡をさせていただきます。
- 又、前日ご家庭で熱があつたり体調が悪かつたりした場合は、担任にお知らせください。

☆薬について

- ・園では事故防止のため飲ませられません。目薬、塗り薬、座薬等も同じです。
- どうしても飲ませなければならない場合はご相談され、薬誓約書に必要事項を記載、捺印し薬と一緒に直接担任へ手渡しください。

☆感染症について

- ・感染症の集団発生や流行を防ぐために下記の日安を守られ、登園されるときは、必ず医師の許可を得て、登園届に保護者で必要事項を記入、捺印され提出してください。



登園のめやすと対応について

A.学校伝染病の予防規則に準じて登園停止が必要とされている病気（登園許可証が必要です）

	登園のめやす	予防法と注意すること
新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過し、かつ解熱してから3日を経過する（医師の指示通り）	医師の指示通りに自宅療養をする
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱してから3日を経過するまで	予防接種があります。（有料）
みずぼうそう	すべての発疹がかさぶたになってから	予防接種があります。（無料）
おたふくかぜ	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫れが出た後5日経過しかつ全身が良好になるまで	予防接種があります。（有料）
はしか	熱が下がったあと3日を経過し元気なとき	混合ワクチン 12ヶ月～24ヶ月未満 1回
風疹	赤い発疹が消えてから	5才～7才（就学前） 1回 計2回
百日咳	抗生物質の服用を始めて7日が経過または特有の咳が消えてから	予防接種をしましょう。（無料）
結核 髄膜炎菌性髄膜炎	隔離入院し退院後、医師の指示通り	B C Gをしましょう。（無料） 家族や保育者の健康管理が大切です。
アデノウイルス感染症（プール熱）	熱が下がり、のどの痛み、目やにが、なくなったあと、2日を経過してから	くりかえし手洗いをしましょう。
はやり目（流行性角結膜炎）（出血性結膜炎）	眼科医が伝染のおそれがないと認めたとき	くりかえし手洗いをしましょう。 タオルの共用はやめましょう。
腸管出血性大腸菌感染症（O157等）	隔離入院し退院後、医師の指示通り	くりかえし手洗いをしましょう。 おむつ交換時の消毒と手洗い



B.条件により登園停止が必要な病気



病名	登園のめやす	予防法と注意すること
ヘルパンギーナ	熱が下がり、食事也十分にできて元気なとき	
溶連菌感染症	抗生物質が1～2日間服用でき、熱が下がり元気なとき	腎炎などになることがあるので、抗生物質は最後までのみましょう。
流行性嘔吐下痢症（感染性胃腸炎）（乳児嘔吐下痢症）	嘔吐・下痢症状から回復した後、食事が十分摂れ、元気なとき	予防接種があります。（有料） 脱水に注意しましょう。 オムツの交換時の消毒と手洗い。
マイコプラズマ感染症	激しい咳や熱などの症状がよくなり元気なとき	入院が必要なときがあります。
R S ウイルス感染症	激しい咳、鼻水、熱などの症状が良くなり、食事が十分に摂れ元気な時	手洗い、うがい、脱水に気をつける。 乳児は重症化しやすい。
突発性発疹	熱が下がって元気なとき	
りんご病	発疹のみで元気なとき	直射日光に当たらないようにしましょう。
手足口病	熱がなく食事が十分にでき元気な時	発熱、頭痛、嘔吐などに注意しましょう。

C.登園はできるが、流行性があるため、家庭での十分な配慮が必要な病気（以下の症状の場合は、当園ではプール遊びはできません。）

とびひ	治療を始めて、膿汁が出なくなった時、感染力が強いので、重症の場合は、医師の登園許可が出るまで	プール、水遊びは治るまでやめましょう。
頭しらみ	登園できます	薬局より、薬、シャンプーを購入し、きちんと処理する。ブラシ、櫛、シーツ等の共用はやめましょう。
みずいぼ	登園できます	タオルなどの共用はやめましょう。シーツ等の共用はやめましょう。

☆ 病後の登園について

病気の症状がなくなって、熱が下がって大丈夫と思われがちですが、再発したり、他の病気を誘発しないためにも、体調が完全に回復するまではご家庭でゆっくり過ごされることをお勧めします。

☆ 予防接種後の過ごし方について

予防接種後は安静が必要です。副作用で具合が悪くなることもあります。出来るだけご家庭で静かに過ごせるようにご配慮ください。そのためにも予防接種後の登園はご遠慮ください。

